

## 今月の表紙「クワズイモ」

ポピュラーな観葉植物「クワズイモ」は、実はサトイモの仲間です。芋が食用に適さないことから、「食わず芋」と呼ばれたのが名前の由来です。しかし、観葉としては別名「出世芋」とも言われ、ユニークなハート型の葉が人気を集めています。

## Contents

- 01 巻頭言  
長谷川閑史「この国のゆくえ」

---

- 02 特集  
2009年度 新副代表幹事座談会

---

- 09 リレートーク  
大江 匡「Liquid Space」

---

- 10 委員長インタビュー  
消費問題委員会 林野 宏  
金融・資本市場委員会 芦田昭充  
地球環境問題委員会 浦野光人

---

- 13 経済同友最前線  
消費問題委員会 報告書  
「個人消費社会から時間消費社会へ」  
金融・資本市場委員会 報告書  
「米国発金融危機とわが国金融の今後の課題」  
地球環境問題委員会 意見書  
「世界に先駆けた持続的発展を可能にする社会づくりを」  
全国経済同友会地方行政改革推進会議  
意見書  
「地方分権改革の徹底と道州制導入に向けた政治の決断を求める」ほか

---

- 25 おくやみ  
速水 優 元代表幹事を偲んで

---

- 27 おくやみ  
高垣 佑 元副代表幹事を偲んで

---

- 28 同友会スケッチ  
2009年5月の記録と7月の予定

---

- 29 新入会員紹介  
2009年5月15日現在の入退会者

---

- 30 私の思い出写真館  
岩田 喜美枝「映画『ベアテの贈りもの』の製作」



副代表幹事  
政治・行政改革委員会 委員長

**長谷川 閑史**

武田薬品工業  
取締役社長

## この国のゆくえ

5月11日、民主党小沢代表の辞任が唐突に発表された。その週末は民主党代表選挙の話題で持ちきりであったことをご記憶の向きも多いことと思う。しかし、選出された鳩山新代表のリーダーぶりを見る前から、小沢前代表の影響を意識させる報道など、最近のメディアの反応・分析には、いささか短絡的・断定的な傾向があり不安を感じざるを得ない。

代表選挙を経た民主党は、来るべき総選挙に向けて体制を立て直すことに全力を傾注し、一方の自民党は残された短い時間と解散選択肢の中で、世論の反応を見ながら解散の時期を窺うことになろう。すでに実質上の選挙戦の火蓋は切って落とされたと言っても間違いない。ここで注意すべきは、「世論調査」の数値に惑わされることなく、各人がよく考えて選択することである。設問の仕方によっては、バイアスのかかった調査結果となることもある。それにより、いわゆる「世論」が形成され、多くの人がその影響を受けトレンドが決まるという危うさを、この種の調査は常に内包していることを各人が自覚しておく必要がある。

総選挙の結果がこの国の将来を大きく左右することに誰も異論はないであろうことから、以下の点を十分考慮することは、選挙権を有する国民の義務として認識する必要がある。

- ①必ず投票に行き（あるいは期日前投票、不在者投票を行い）、成人国民に与えられた権利行使の機会を逸することなく、この国の将来に自らの意思を反映する。
- ②各党（特に二大政党である自民党と民主党）のマニフェストにできるだけ目を通し、内容の妥当性・必要性と同時に、具体的な実行プラン等を比較し判断を試みる。
- ③各政党の政策や政治活動に関する報道に接し、自ら自信をもって判断し得るだけの情報を収集する。
- ④現状の延長戦を続けるか、変化を求めるか、そのリスク／ベネフィットを考え判断する。その際、「この世に存在するすべての事象は循環しており、不変のものは無い」、あるいは「絶対的権力は絶対的に腐敗する」という事実を認識しておくことが肝要である。

広報誌「経済同友」読者諸兄に対し、いささか分を過ぎた物言いをしていることを反省しつつも、来るべき総選挙が、諸兄を含む多くの国民が自らの将来を自らの手で選択できる稀に見る機会であることを認識し、賢明な行動に移していただくことを願うが余りの暴言であることをご海容願いたい。